

平成29年度再資源化預託金等運用計画

運用の基本方針に基づき、平成29年度の再資源化預託金等運用計画を以下のとおりとする。

1. 平成29年度の新規運用額の見通し

入金及び繰越金 1,581億円				
預託金 新車購入時531億円 引取時 3億円 (合計) 533億円		運用収入 95億円	債券満期償還金 893億円	前期からの繰越額 60億円 * 1
出金及び繰越金 566億円				平成29年度の新規運用額 1,015億円
メーカー等への払渡 340億円	輸出返還 165億円	他会計への繰入金支出 6億円	次期への繰越額 55億円 * 2	
				第1四半期 第2四半期 第3四半期 第4四半期 297億円 241億円 235億円 241億円

- * 1 前期からの繰越額60億円の内訳は、債券未取得額30億円及び流動性確保額30億円である。
 債券未取得額とは、次期の初めに新規発行時における政府保証債を取得するために繰り越す額である。
 流動性確保額とは、突発的な預託金の出金の増加に対応するための金額であり、輸出返還金額(15億円/月)の2ヶ月分とした。
- * 2 次期への繰越額55億円の内訳は、債券未取得額25億円及び流動性確保額30億円である。

2. 平成29年度における新規取得債券の種別構成及び平成29年度末の保有額面残高の見通し

- ① 運用の基本方針に基づき、平成29年度において新規に取得する運用対象資産は、「国債」及び「政府保証債」である。また、政府保証債の取得額については、国債の取得額を超えないものとする。
- ② 平成29年度における新規取得債券の種別構成及び平成29年度末の保有額面残高の見通しは下表のとおり。

	国債	政府保証債	格付け制限あり債券 * 3	計
平成28年度末保有残高	7,346億円	858億円	753億円	8,957億円
平成29年度満期償還額	706億円	76億円	111億円	893億円
平成29年度新規取得額	596億円	299億円	—	895億円
平成29年度末保有残高見通し	7,235億円	1,081億円	642億円	8,959億円
平成29年度末種別構成比見通し	81.0%	11.9%	7.1%	100.0%

* 3 財投機関債、地方債、社債及び金融債。

- ③ 取得対象年限の債券の金利がマイナスとなった場合の対応
 元本の確保を前提とする運用の基本方針に則り、マイナス金利の債券は取得しない。仮に取得対象年限の債券の金利がマイナスとなった場合、当該対象年限の未取得額は定期預金にて管理し、金利がプラスになり次第、債券の取得を行う。

※1 四捨五入の関係で合わない場合がある。

※2 詳細は第73回(平成29年2月24日開催)の資金管理業務諮問委員会資料「資料6-1」を参照。